

平成16年度上半期業績を ご報告いたします。

平成16年度上半期は、景気回復基調にありましたが、金利や株価などの運用環境は、大きく好転するまでには至りませんでした。そうしたなか、明治安田生命は、いっそうの資産健全化を図り、財務内容において引き続きトップレベルの健全性を堅持しております。また、「2つの生命(いのち)」を保障する、という新しい発想の保険「ライフアカウント L.A. ダブル」がご好評いただくなど、安定的な収益力も確保しております。明治安田生命は、今後も、健全性、収益力、成長力のよりいっそうの向上に取り組んでまいります。どうぞご期待ください。

予測を超えたリスクにも十分対応できる支払余力を確保しています。

ソルベンシー・マージン比率

802.9%

ソルベンシー・マージン比率とは、大災害や株価の暴落など、通常の予測を超えて発生するリスクに対応できる「支払余力」を有しているかを判断するための行政監督上の指標の一つです。平成16年度上半期末のソルベンシー・マージン比率は802.9%と十分な支払余力を確保しています。

バランスのとれた堅実な資産内容で、十分な企業体力を堅持しています。

含み損益(一般勘定資産全体)

1兆2,526億円

含み損益とは、資産の時価と帳簿価額(取得価額)との差額を指し、保険会社の企業体力を表わすものの一つです。平成16年度上半期末は、一般勘定資産全体で1兆2,526億円の含み益を確保しています。

当社は次の主要な資産すべてにおいて、含み益を確保しています。

平成16年度 上半期末 含み損益	国内公社債 1,674億円	国内株式 8,362億円	外国公社債 719億円	外国株式等 1,125億円	土地 715億円
------------------------	------------------	-----------------	----------------	------------------	-------------

自信

